

～高齢者を特殊詐欺から守ろう～



9/10 東灘だんじり
ミュージアム

9/16 菊水地域
福祉センター

★プログラム概要

目的 社会問題化している特殊詐欺被害者の大半を占める高齢者に焦点を当て、被害防止に貢献する。

方法 特殊詐欺被害者の実態を調べ、それに基づく寸劇を制作し、菊水地域福祉センター・東灘だんじりミュージアムで発表する。

★令和6年の被害

架空料金請求詐欺 被害件数 2870件
被害総額 69,2億

警察官かたり 被害件数 4730件
被害総額 389,3億

サービスラーニングを経て

気づいた事

実際に特殊詐欺の被害にあった人が多かった。

笑顔で聞いてくれることや防犯ポイントを書きとめる来場者が多かった。

より伝えるためには感情移入の大切さに気付いた。

困難だった事

台本を覚えることが難しかった。

自然体でのセリフが難しかった。

心に響く演技をすることが難しかった。

感想

交流の中で、来場者の方が今回の学びを周囲にも伝えたいと話されており、この取り組みが地域の防犯意識の高まりにつながると感じた。

工夫したこと

NTT自動音声や携帯電話の着信音など、実際のリアル感を出すために、劇に音声（自動音声等）を取り入れた。

重要なポイントは、印象に残してもらえるようにプラカードに記載するなど、言葉だけでなく、文字でも伝えるようにした。



～高齢者を特殊詐欺から守ろう～

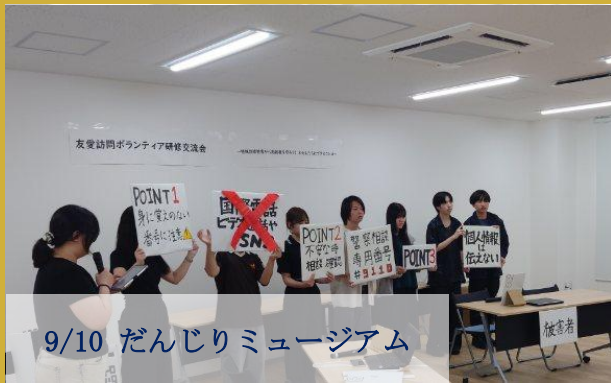
ニセ警察官による特殊詐欺から身を守る

ニセ警察官による詐欺

携帯電話や固定電話に警察官を名乗る者から、様々な理由をつけて「事件の容疑者になっている」、「あなたは逮捕される」などと不安を煽り、現金を騙し取ったり、振り込ませたりする**特殊詐欺の手口**。

ニセ警察官詐欺の注意POINT!!

- ①電話番号末尾0110だけで信用しない！
ビデオ通話に応じない！
- ②警察相談専用番号#9110に相談！
犯人から「容疑者になっている」などと脅しの言葉をかけてくる！
- ③個人情報の取り扱いに注意！



9/10 だんじりミュージアム



9/16 菊水地域福祉センター

サービスラーニングを経て

来場者の声

「プラカードがわかりやすく見やすかった。」
「世の中の為に素晴らしい活動をされて感動した。」
「マイクの使い方ですぐに声がかかった。」
「知らなかった手口が分かり参考になった。」

履修者の感想

台詞を間違えず言うあまり、誰にでも分かりやすくゆっくり喋るのが難しかった。

詐欺被害に遭う人が多い。

笑顔で聞いてくれることや重視ポイントを書きとめる来場者が多かった。

考えた内容

実体験に沿ってシナリオを作成し、口調を関西弁にする事で来場者に親しみを持たせた。
プラカードの挙げるタイミングを工夫した。
スマホや警察手帳などの小道具を大きくし見やすくした。

大切なこと

- ・詐欺の手口方法を知る！
- ・身近な人や警察に相談する！

◆ 今後に向けて ◆

今回学んだ防犯について、特殊詐欺の手口を理解することが大切である。

そのため、常に詐欺についての情報収集と防犯意識を高く持つ。

また、電話を受けた際は決して1人で対処せず、家族や友人、周りの人々や警察に相談する。

防犯意識が低い人にも、意識を高くもってもらうため引き続き防犯活動を続けていく。